

事業のスクラップ

● 講座のねらい

事業のスクラップの目的や必要性について学び、事業のスクラップが進まない阻害要因等について理解する。また、実践を通して見直しに必要な相対的評価について学び、事業の見直しを促進するアプローチ手法について理解を深める。

● 研修について

【対象者】 受講を希望する職員

【日程】 令和7年 5月16日（金）

【会場】 自治研修センター

【予定人員】 35人

【講師】 一般社団法人日本経営協会 宮脇 俊夫 氏

● カリキュラム（1日間）

午前	午後
<p>(9:30～9:50) ・オリエンテーション</p> <p>(9:50～12:00) 1 住民のために (1)地方公共団体の目的（仕事の成果） (2)地方公務員として求められる行動 (3)住民のために（使命感と責任感と情熱） (4)地方公務員の現状（全力がそこそこに） (5)成果を生み出すために必要なもの（人材育成とコンプライアンスとスクラップ） (6)ひと踏ん張り（変化の漂流者ではなく変革への挑戦者に） (7)働きがいのある職場 【事例紹介】 「どうして職員は働かないのか」 「人事評価が2・6・2の法則を変える」 「わかっている、行動が・・・」等</p> <p>2 明日のためにスクラップ (1)スクラップにつながる業務改善 (2)明日のためのスクラップ（住民サービスの向上、まちの発展のために） (3) 地方創生SDGsの推進 【事例紹介】 「人事異動の辞令書の廃止が人事制度改革のはじまり」 「こども医療費無償化の財源創出のために」 ・ワーク(スクラップ候補と考える事業)</p>	<p>(13:00～16:00) 3 昨日の仕事から明日の仕事へ (1)事業のスクラップのために必須なもの（職員の情熱、行財政運営の適正化と効率化） (2)事業のスクラップの範囲（スクラップ、リノベーション、リフォーム） (3)スクラップの6つの判断基準（事業目的の妥当性、自治体が実施する必要性等） (4)スクラップのために考慮すべき点（大義があるか、庁内・議会・市民の理解度） (5)スクラップを行う上での留意点（一気の廃止にこだわらない、タイミングをみる等） (6)スクラップの基本行程（事業の洗い出し、計画素案の作成、政策、総務、人事との調整、トップや議会にはまず相談から等） (7)スクラップ実施計画の策定（何を、なぜ、いつまでに、どのような状態に、どのようにして） 【事例紹介】 「市民サービスコーナーの廃止に5年」 「産業交流センターを保健所へ転用」 ・ワーク（スクラップしたい理由の合理性） ・ワーク（スクラップできない事情の再検討） ・ワーク（スクラップ実施計画の検討）</p> <p>(16:00～) ・閉講</p>

● センター職員からの オススメポイント♪

本講座を担当する宮脇講師は、兵庫県明石市の元職員で、副市長も3年間務められました。長い行政経験を活かして、全国の自治体で様々な研修の講師を担当されています。

行政の職場をよく理解されている宮脇講師の講義は、業務の見直しをしたいと考えている方や、他の自治体の事例等に興味がある方にオススメです。